

山梨ライトハウス

第99号

発行／社会福祉法人 山梨ライトハウス
〒400-0064 甲府市下飯田2-10-1
TEL/055-222-3502 FAX/055-233-0124
URL <http://yamanashi-lighthouse.or.jp>



情報文化センター 電話／055-222-3502
貸出・用具専用／055-223-1113
青い鳥ホーム 電話／055-242-8244
青い鳥成人寮 電話／055-224-5060
青い鳥支援センター 電話／055-267-7480
ヘルパーステーション青い鳥／055-221-0880
居宅介護支援事業所青い鳥／055-242-9020
相談支援事業所ヴィーヴィ／055-221-1260
青い鳥老人ホーム 電話／0553-26-6631
青い鳥ケアホーム 電話／055-235-5566

社会福祉法人 山梨ライトハウス



山梨ライトハウスの理念は
「視覚障害者の未来を照らす
光の道標となること」です。

CONTENTS

巻頭言……………	1	ボランティア紹介……………	7
新施設長挨拶……………	2	感謝状・表彰状を贈呈……………	7
新人職員紹介……………	2	お知らせ……………	8
ライトハウスニュース……………	3~6		

映画『わたしのかあさん―天使の詩―』

青い鳥ホーム兼
青い鳥ケアホーム施設長

久保 育枝

国内最高齢の女性映画監督と言われ
る山田火砂子監督の十作目となる『わ
たしのかあさん―天使の詩―』の上映会
が全国で開かれている。ご自身の娘さん
が障害を持つことから福祉や教育を
テーマにした作品が多く、その熱意や監
督の人柄に魅かれた俳優が出演されて
いるようだ。山梨での上映は二回で、私
はいずれも鑑賞した。

知的障害のある母清子（寺島しのぶ
さん）との思い出を、障害者支援施設の
園長へと成長した娘高子（常盤貴子さ
ん）が振り返る中で、障害への偏見・差
別、共働き家庭、超高齢社会、平和な
ど、社会における様々な課題が描かれて
いた。驚いたのが、とある障害者の親が
「子供のために想って」と自立や就労を
阻み、実は子供の年金を当てにしてい
るというシーンがあったこと。ごく僅かな
シーンなのだが、福祉の現場取材をされ
てこそこの課題であろうし、フォーカスで
けるのは当事者家族でもある山田監督
だけかもしれない。福祉を『正しいも
の』と守られるべきものだけに終わら
せず、生じる矛盾や歪みまでも描いてい
るからだ。
私も社会の一員として考えさせられな
がらも、ユーモラスな台詞や障害当事者

が懸命に演技する場面にほっこりでき
たし、母親の障害をひっくり返して『わ
たしのかあさん』と思うに至るところには
本当に感動した。

そして、大変光栄なことに上映会で監
督とお話する機会に恵まれた。日頃、
政治やメディアに感じている矛盾に対し
てチャタリングな口調で怒るので、聞いて
いて寧ろ心地良い。次回作への意欲も
語られていた。その熱量はどこから湧い
てくるのだろう。「根っこにあるのは戦
争反対」と監督は力強く仰った。元々山
梨県甲州市の出身であることから、戦時
中には東京から塩山に疎開されたのだ
という。監督が「戦争が終わってからも
…、違う、終わったんじゃないね、負け
てからもね…」と言い直したのが印象的
だった。敗戦後の壮絶な時代を生きたか

らこそその「戦争反対」には、私たちが唱
えるそれとは異なる言葉の重みを感じ
られた。同時に、九十二歳になっても
尚、他者を想う姿に感銘を受けた。

映画には、公園のベンチで雨に打たれ
ている人にかあさんが傘を差し出す
シーンがある。私はそれを観て「そうだ
よな、利己的じゃなくて利他じゃないと
…」なんて最初は感じたが、利他と考え
ることにも己（おのれ）がある訳で、も
し善行をしたい己の想いが先だったり強
かったりすれば、それはもはや利己だけ
なのかもしれない。かあさんみたいな
に単純に、濡れている人がいるから傘を
渡せるような人になりたいと思えた。上
映会は今後も全国各地にて続き、山田
監督はすべての上映会にて挨拶をされ
る予定とのことだ。



©2024現代がろだくしょん



青い鳥老人ホーム新施設長 挨拶

中山 吉幸

本年四月一日より青い鳥老人ホーム施設長を拝命いたしました中山です。

まずは、簡単な自己紹介をさせていただきます。私の出身地は北杜市高根町です。詳しくは、市営温泉・たかねの湯の近所です。二〇数年前に甲斐市龍地、ジュエリーメーカー『光・彩』の近くの分譲地を購入し、現在は甲斐市民となっています。両親は既に他界しており、空き家となった北杜市の実家と農地の管理が毎年の悩みの種です。幸いなことに農地については借り手が見つかりましたが、屋敷の除草は今年も何回か精を出さなければなりません。家族構成は妻と子ども二人、猫二匹です。私は子どもが出来るのが遅かったため、二人の子どもはまだ大学生（四年生と一年生）でともに東京に出ています。昨年度は上の子の就活と下の子の大学進学が重なり心労が多かったのですが、二人とも進路が決定し今年には気持ち的にはゆったりとしています。ただし、下の子は女の子でにぎやかだったため、上京した四月以降は家の中はひっそりとして寂しい感じます。今は猫の相手をする毎日です。

私はこのたび、前任の安藤施設長と茂手木事務局長から声をかけていただき、山梨ライトハウスにお世話になることになりましたが、私は今「縁」というものを感じています。まずは県庁

の縁です。安藤前施設長は県庁の大先輩であり、茂手木事務局長は県庁同期入庁で退職後勤務した山梨県社会福祉協議会で二年間一緒に仕事をした仲です。もう一つは仕事上の縁です。私は山梨ライトハウスに青い鳥成人寮を県から買い取っていただいた時の担当課長（障害福祉課長）でありました。この件は県議会から突然出された難題であり、何回も臨時の理事会・評議員会、家族会を開催していただきご協議いただきました。当時の花形理事長、事務局の皆様には大変なご苦労をおかけいたしました。改めまして感謝を申し上げますとともに、現在は多額の借入金を返済しながら黒字経営を続け、着実に視覚障害者支援事業を拡大しておられることに敬意を表したいと思います。このような中、私が山梨ライトハウスの一員になるには縁を感じざるを得ません。

私は県庁時代福祉行政に携わった経験がありますが、福祉施設の管理運営は初めてです。したがって、再び初心に帰り一から学び、山梨ライトハウス及び本県の視覚障害者福祉の向上に少しでも貢献していけるよう努めて参りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

新人職員紹介

(令和6年3月～令和6年6月採用)

①氏名 ②所属 ③職種 ④好きな言葉、または一言



こやま ゆうこ
①小山 祐子
②青い鳥成人寮
③生活支援員
④色々な利用者さんと関わって楽しいです。これからよろしく願います。



なかやま よしゆき
①中山 吉幸
②青い鳥老人ホーム
③施設長
④感謝、感謝すべてに感謝。



うちざわ みちやす
①内澤 通泰
②青い鳥老人ホーム
③生活相談員
④いつでも「ありがとう」が言えるよう心がけています。

新しく採用になった皆さんです。
宜しく願います！

ライトハウスニュース

NEWS NEWS NEWS

●情報文化センター●

点訳奉仕員養成講習会が始まりました

六月七日、令和六年度点訳奉仕員養成講習会の開講式を開催し、今年度は八名の受講者が参加されました。

開講式では、受講者の方々の自己紹介も行われ、なぜ講習会に参加しようと思ったのかなど、皆さんそれぞれの思いを話されていました。また、実際に点訳図書を紹介し、当センター職員による触読や視覚障害についての話にも、みな熱心に耳を傾けていました。

開講式の後は、第一回目の講習を行い、点字の歴史や仕

組みなどを学んだあと、実際に練習器を使って点字を打っていました。

参加者の方々は「一冊の本でも点訳すると何巻にもなることを知った」「点訳図書も普通の本と同じスピードで読めることに驚いた」という声や「最初は不安だったけど楽しかった」という声をいただきました。これから全二十回の講習を経て、一人でも多くの受講者が点訳奉仕員として活動してほしいと思います。



講習会の様子



自己紹介をする受講者



所長あいさつ

●青い鳥ホーム●

伊那への旅

マッサージのない時間に取り組んでいる創作活動の作品を、長野県伊那市のかんてんばばホールで開かれた『初夏の手づくり展』に置いていただきました。主催する『はんづ会』の完成度の高い染め物や手芸、陶芸作品の中に置いてもらい少し心配していましたが、「点字の花かご、良いアイデアですね」「革の持ち手がすてき」などと、多くの方に手に取ってもらうことができました。

利用者の皆さんも思い切った会場へ：高速道路も使い二時間弱の旅です。着くなり会場の方々が温かく迎えてくれました。自分たちの作った作品の売

れ行きよりも他の方の作品が気になる皆さん、一点ものの帽子やカバンなどの買い物を楽しみました。

このホールは、寒天で有名なかんてんばばの工場や売店と一体の敷地にあります。寒天を使ったレストランもあり、昼食は寒天麺のスパゲッティやうどん、寒天スープ、ところてんやあんみつを食べました。売店でお土産も買い、帰路に着く頃には「寒天だからか、お腹がまた空いてきちゃったね」と、夕飯を過ごせました。



会場の一部



いっぱい買いました



自然の中にあるかんてんばば

● 青い鳥支援センター

カラオケ大会とチヂミパーティー

青い鳥支援センターの「日中一時支援」ではカラオケ大会を行いました。二十歳から五十六歳の利用者様が参加し、自慢ののどを披露しました。

カラオケ専用のマイクとスマートフォンをBluetoothでつないで曲を流し、それに合わせて歌います。昭和の歌謡曲、演歌、アニメソング、J-POPなど、さまざまなジャンルの曲を次から次に選んで、夢中でマイクを握って楽しんでいました。この人がその選曲!!?と思えるような意外な一面も見られて、一緒に参加した職員も大喜び。聴いている人たちも手拍子をしたり、一緒に歌ったり、賑やかなイベントとなりました。

歌を楽しんだあとは、チヂミパーティー。ホットプレートで焼いたチヂミをみんなで楽しくいただきました。



懐かしい昭和の歌



AKBの歌ならまかせて



Kinki Kidsを歌う昭和生まれ



ガッチャマン熱唱



夏らしく「ひまわりの約束」



平成生まれだけど郷ひろみファン



アンパンマンを踊りながら



みんなで食べるとおいしいね



チヂミパーティー

老人ホーム春の行事

本当に長かったコロナ禍の各種制限も、ようやく終了。英和中高の花の日訪問では、数年ぶりに生徒さんとふれあいながら交流をすることができました。

ご近所へのちよつとツアーに、開所記念お祝い会、ハンドマッサージにネイルケア。マスク無し
の笑顔を見ることが出来る幸せを感じます。



開所記念



花の日訪問



一緒に折り紙



いっぱい寄ってきたね



楽しい～



みんなでパチリ



ステキでしょ



ありがとうねえ～



きもちいいなあ～

ケアホームの彩り 季節を感じて

青い鳥ケアホームは住宅街の一角、幼稚園や小学校、高等学校、支援学校が近隣にあつて人通りと車通りの激しい場所にあります。その中で、季節を感じる光景を紹介したいと思います。

四月中旬から五月にかけてケアホームの前庭には様々な品種の薔薇が美しい花を咲かせ、その魅力で道行く人が立ち止まって鑑賞したり写真を撮る方もおり、皆さんを楽しませていきます。利用者も優しく触っては指にうつる香りを楽しんでいきます。薔薇以外にも様々な植物が植えられており、ガーデンを通じて季節の移ろいをご覧いただけます。心を込めて手入れをしたお庭を利用者と共に楽しんでいきます。

また、ケアホームの建物の裏には細い水路が流れています。六月に



色とりどりの薔薇



一口でパクリ

これが大きいかな？



外で食べるとおいしい！

なるとその川沿いが蛍の生息地となり、蛍が夜の水辺に幻想的な淡い光を放ちながら舞い飛んでいます。近年なかなか蛍を鑑賞できる場所が少なくなりましたが、まさかこんなにも近い場所で鑑賞できることに感動しています。利用者も、手を伸ばせば止まる蛍を見ては幼い頃に過ごした田舎を思い出すと話をしています。

外出でも、季節の食べ物、いちご狩りに行き各々新鮮な苺を手に取り、赤く染まった手を見ては笑う方もいました。その後は小瀬スポーツ公園で弁当を食べ公園内を散策し春を感じました。これからも、四季折々の季節を感じる生活を過ごしていきたいと思えます。

「誕生日のお出かけ」

新年度から誕生日のお祝い外食を再開しています。普段の食事よりちょつと贅沢をして、誕生日に食べたい物を選んでいきます。

食事をする楽しさは勿論、お店で食事を注文することや食事が出てくるまでの待ち時間をワクワクしながら待っていました。

いろいろな催し事が少しずつ再開されています。以前のように皆さんと一緒に楽しめるイベントがこれから楽しみです。



プリンアラモード美味しい！



Happy birthday !!



姉妹そろって



ビッグサイズ！



酸辣湯麺です！

ボランティア紹介

山梨青い鳥奉仕団

音訳部

清水 英一

「あれから十二年」

定年退職の年、妻からの一言「退職後も続けられる活動があるといいね！」

何でもよいという訳でもなく、かといって特に思い入れがあった訳でもなく、妻に勧められるままに「音訳奉仕員養成講習会」に参加してから十二年が過ぎました。

初めての経験に戸惑いながら「少しは他人の役に立っているのではないか」という思いだけが支えでした。活動が継続できたのは、奉仕団でのさまざまな講習会や一緒に勉強した仲間たちの応援があったからこそでした。今があるのは、奉仕団あつてのことだと感じ、心から嬉しく思います。

二〇一九年、「読書ボランティア法」が成立・施行されたことを知りました。その目的は「障害の有無にかかわらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるようにする」ための法律というようにとでした。法律制定の背景



にある「障害によって文化の恩恵を受けられない実態がある」この現実に対し、改めて「フェアで無い世界のある事」を思い知らされた気がしました。良くも悪くも「情報化社会」といわれる現在、だからこそ溢れるんばかりの情報の中から、「誰もが自由に取捨選択できる環境」が準備されることとは、とても大事なことだと思えます。そのために音訳ボランティアが果たす役割は大きいと思えます。私のささやかな思いだけでは足りないと思いつつ、それでもできる限り続けようと思えます。

感謝状・表彰状を贈呈

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染予防のため、役員会席上での贈呈はできませんでしたが、萩原理事長より次の皆さまに感謝状並びに表彰状が贈られました。

○感謝状（福祉功労者）

ボランティア活動を通じて、5年以上継続的に活動し、障害者福祉の向上に尽力しその功績が特に顕著で他の模範と認められた方に贈られます。

- ・ 標 春恵 様（青い鳥奉仕団 音訳奉仕）
- ・ 野田 純子 様（青い鳥奉仕団 音訳奉仕）
- ・ 佐藤 岳美 様（青い鳥奉仕団 点訳奉仕）
- ・ 柴山 美里 様（青い鳥奉仕団 点訳奉仕）
- ・ 原 美代子 様（青い鳥奉仕団 点訳奉仕）
- ・ 半田きよ子 様（青い鳥奉仕団 点訳奉仕）

○表彰状（永年勤続者）

施設職員として10年以上勤務し、その功績が顕著で他の模範と認められた職員へ贈られます。

- ・ 加藤 正美 様（青い鳥成人寮） 永年勤続
- ・ 手塚 陽介 様（青い鳥成人寮） 永年勤続
- ・ 海野 由佳 様（青い鳥老人ホーム） 永年勤続
- ・ 芦澤 康子 様（青い鳥支援センター） 永年勤続
- ・ 青木 美恵 様（青い鳥ケアホーム） 永年勤続

○いきいき輝き賞

障害を克服し自立生活、生涯学習、社会参加などに積極的に取り組み、心豊かな生活を営み、いきいき輝いて生活するとともに、他の利用者の模範と認められた方に贈られます。

清水 猛 様（青い鳥成人寮）



今年度のいきいき輝き賞、ありがとうございます。いつももらえるか楽しみにしながら作業や活動、頑張っていました！受賞できてとても嬉しいです！！これからもいきいき輝いていけるように！つぎもまた受賞できるように毎日楽しみながら頑張っていきたいと思えます！

山本 サカエ 様（青い鳥老人ホーム）

これからはいろいろなことに挑戦をして、明るく楽しい生活を送りたいと思えます。



皆様、おめでとうございます！

第42回 長谷部賞の贈呈 受賞者 野中 弓子様

野中さんは、昭和53年青い鳥奉仕団に入団し、点訳奉仕活動を始めました。その後、奉仕活動の実績が認められ、昭和63年に知事賞、平成12年には日本盲人社会福祉施設協議会感謝状を受賞しました。ご自身の奉仕活動だけでなく、地元の視覚障害者への点字訓練に関わり点字の普及に努め、また青い鳥奉仕団の会計事務を担当するなど、周囲から大変に厚い信頼を寄せられています。



受賞者 野中弓子様



代理受領者 山梨青い鳥奉仕団事務局長 大村早百合様

長谷部賞について

本賞は、本県の視覚障害者の福祉の発展に半生を尽くされた長谷部薫先生のご功績を長く記念するため、昭和58年に創設されたものであります。以来毎年、視覚障害者の文化の向上と福祉の増進に尽力され、その功績が特に顕著な方に贈られ、これまで47名の方が受賞されています。



川柳

浅川和多留 選

● ライトハウス川柳会 題詠(暑い)

熱中症暑い暑いの術もなく

桑原 梅次

酷暑と猛暑母の命奪いけり

相沢 幸雄

絵手紙の暑中見舞の大西瓜

埜村 和美

風鈴も黙り込んで炎天下

萩原 満治

初夏となり老いの厚着も軽くなり

本間りょう

時どきの暑さ体に教え込む

堀内 孝春

汗だくでポケット探り助かった

岡部 恵子

雑詠

春の野辺黄色い絨毯敷き詰めし

桑原 梅次

亡き父と一つの夢誓い合う

相沢 幸雄

外食は高嶺の花よ手巻き寿司

埜村 和美

元気だよ電話の声が風を呼ぶ

萩原 満治

指揮をとる合唱トノサマガエルかな

本間りょう

先輩の言葉にもらう進む道

堀内 孝春

尊富士けがを治して夢を待つ

岡部 恵子

● 青い鳥老人ホーム川柳クラブ

ふるさとに続く青空仰ぎ見る

影山笑美子

背を丸め頬にふれ手に朝の風

松木 鏡

ふるさとの訛り懐かしクラス会

山本サカエ

ふるさとの今も続くか町祭り

佐野 英夫

夏の日の夕暮れ待つて蛍狩り

齊藤はる子

思い出す少女の頃のお花摘み

工藤 勉江

ネイルしたみんなの笑顔ひかりの環

市瀬 英子

赤黄白ひとの心もこれに似て

佐野 しま